

神樹の会会報

No. 27
平成4年7月27日

発行所：神樹の会
発行人：水野整一

本部事務所（六甲作業所内）
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
六甲作業所、東部デイサービス、東部生活訓練所
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
明芳デイサービス
〒654 神戸市須磨区大田町6丁目4-4 ☎735-8835
垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675
福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

（事業所）

より大きな輪に
神樹の会
会長 水野整一

本日ここに第二十一回目、平成四年度の総会を挙げるにあたりご多忙の中をご出席頂き深くお礼を申し上げます。昨年は二十年の記念の年で多くの方々に感謝しながら盛大な行事などが行われました。今年には神戸市が十年を目標にした市民福祉総合計画初めの年で、私たちの事業の助成又施設など更に増やされることを願い一般のお骨折りを切望する次第です。越えなければならぬ山も幸せを求めて力を合わせて進まなければなりません。東部デイサービスは東部生活訓練部を統合し更に大きな輪を広げていきたいと思います。神樹の会訓練教室が新規事業として計画され先生方をはじめ多くの方々にご援助ご指導を願って明るくふれあっている。感謝、協力、連帯感思いやりの心をもって共に歩む事を願います。総会が有意義におわるよう願っています。



今後の福祉への取組み
神戸市民生局心身障害福祉室
室長 木村 良一

二十一年目の総会おめでとうござります。新しい神戸市福祉計画十年の最初の年ということで、①重度障害者対策の充実、②保護者の高齢化や親なき後の取り組み、③生涯を通じたケアの充実などをはかっていきたいと思います。将来的には各区で一カ所ずつのデイサービスを考えており、在宅障害者福祉センターに關しては、現在JR灘駅前建設中、これから兵庫駅前、神戸市西部地区に建設予定です。福祉相談とふれあい活動、デイサービス、入浴サービス等を計画していきたい。夏には二郎に療護施設が開所しますが、今後は入所施設の充実と共に、地域の中で家族と共にある在宅福祉にも力をいれていきたいと思っています。



総会開催前夜、二十周年記念誌を見て、神樹の会がすばらしい活動をしており、二十年もよく続けてきたものと、あらためて感心しました。牧野名誉会長、水野会長を中心とした役員の皆様の献身的なご努力と、会員の皆さんの熱意のおかげと思っています。

友生養護学校は北校舎が秋に完成しますし垂水養護学校もクラーの改修が行われ、施設設備も充実しつつあります。また今年も両校に若い新しい先生がたくさん入ってこれら大変活気に満ちています。神樹の会の益々の発展を願っています。

長時間にあたる審議の後、ほっと一息、何となく解放された気分の中意見交換が行われました。本会にたいしては、親が中心になって進んでいる会に、障害者自身ももっと参加し、一緒に考えていける会であってほしいことや、神戸市には沢山の小規模作業所があるが横の連絡がないのでそのきつかけをこの会でしてほしいこと、助成金アップの要請などまとまってほしいのでは等の発言がありました。又、市にたいしては卒業後の緊急一時保護や、神戸市独自の障害者にヘルパー

の派遣制度を設けて欲しい等々要望がありました。明芳デイサービスからは、グループで開いていた絵画教室が平成四年度より統合され垂水駅前前レバンテで月一回行うことになった報告があり、参加者から地域の人々と交流したいことや援助、参加の呼びかけがありました。ワークホーム明友の高井先生から授産施設の実態、園生の健康管理についてのお話をいただき、牧野名誉会長は、「生の声が聞けてよかった。この会をよりよいものに育てていきたい。」としめくくられました。

新しい福祉計画
10年の最初の年に
発展を願って
神戸市議会民生保健委員会
副委員長 古田 稔

総会おめでとうござります。二十年の経過と努力に対して敬意を表したい。高齢化の問題を初めとして、新たな問題がでてきています。

笹山市長は、アーバンリゾートフェア神戸93'に向けて住んでよし訪れてよしの町を造ろうとしています。その中に障害者の要望も入っています。神樹の会の発展を願っています。

神樹の会の意見交換

神樹の会訓練教室長
池田恵子 黒田素美子
(デイサービス事業)

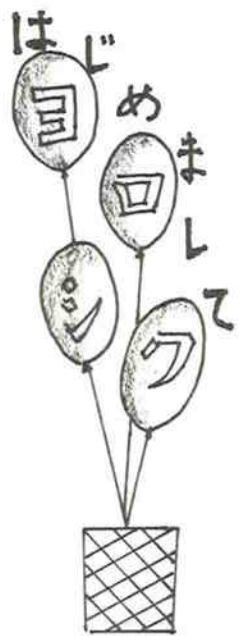
会員総数	897名
出席	92名
委任状	598名
合計	690名

平成四年度
重点目標

1. 会員相互の輪を強める
2. 身体障害児(者)の進路保障
① デイサービス事業の拡充・確保
② 療護施設の早期実現
3. パザー活動の発展と充実

新役員紹介

顧問	山田福松 原田由雄 足立梅雄 池田 稔 長谷川肇彦 増田龍昭 高内恒夫 安原 実 岡本 茂 岡 實 浜本允美 吉田耕二 望月秀雄 堀川静子
会長	水野整一
名誉会長	牧野一夫
副会長	森山チエ子 宮脇テル子 吉岡佑起子 中野 祀子
会計	小野治子 大橋敬子 水谷崇子 辻野富貴 小林公子
会計監査	石黒良康 西村美絵子 松岡幸代
書記	池田恵子 中谷昭代 橋 睦 宮崎洋子
事務局	局長 宮脇テル子 庶務 鷲岡了子 前川登美子 幹事 ○B 牛村和子 室之園里子 堀川房子 中元千鶴子 村上紀美栄 岸本よしの 吉田信子 森 光子 出口恵美子 藤長 子ヨ 河田怜子 新宮せい子 藤田美那子 下山吉子 南 洋子 康本好枝 岸田和代 綾目俊子 丸山 公 末岡悦子 市場千明 椎野泰子 林 恵理子
垂水	秋山和三 米田 達 山内妙子 進元文枝 小泉公子
六甲作業所	六甲作業所所長 庄司幸子 垂水作業所所長 西垣幸夫 東部デ 所長 谷 良子 明芳デ 所長 西原孚左子 垂水希望の家デ 鮫島ミツエ 福祉の店いたやど 高木恵子 土居美千代



今年度より六甲・垂水両作業所の所長を庄司幸子先生と西垣幸夫先生にお願いすることにしました。

時間の愛しさを……

庄司 幸子
袋のシール貼り一枚二円弱、一時間百枚ほど、時間の愛しさをかみしめる毎日です。神樹の会がえがく全体の局面の中で部分を担う六甲作業所の活動を、所員そしてご支援して下さる方々と共に、明るく進めていきたいと思えます。よろしくご指導願います。

(神樹の会六甲作業所所長)

悪いがけず……

西垣 幸夫
私が神樹の会の作業所にお世話になるという事は夢にも考えていなかったの人は一生に何が起るかわからないものだと思つた。垂水作業所には養護学校を卒業した顔見知りの諸君も多い。又いつまでも若々しいお母さん方に毎日接していると、私は教師時代に逆戻りしたかのような錯覚に陥る。

(神樹の会垂水作業所所長)

ふれあいフェスティバル



東遊園地の福祉コーナーで

七月十四日から三日間ふれあいフェスティバルに参加。十四日の夕べのつどいには垂水作業所のスターヒルアンサンブルが出演。福祉コーナーではチャリティバザーをしました。

はじめて
神樹の会より参加

九月から実施

学校五日制

九月の第二土曜日をかきりきり週五日制が全国的に実施されます。友生養護、垂水養護とも「ふれあい活動委員会」を組織し、土曜日をどうすれば心身に障害のある児童・生徒たちが地域社会の中で、共に生活する機会が多くなるかを話し合っています。

子供たちにゆとりと、豊かな感性の育成と、社会性・創造性を培うことが大切と思われまふ。そのためには障害児者が地域の人々と交流することにより障害児者の思いやほんとうの姿を知っていただきたいと思ひます。しかし、それには施設の開放・設備の充実・指導員やボランティアの問題などたくさんの課題が出ています。

東部生活訓練部と

東部デイサービス事業が統合

谷 良子
火曜教室として親しまれ十年間歩んできた東部生活訓練部と東部デイサービス事業が、今年度より統合されました。それぞれの場所で、ある者は油絵をかいり、習字をしたり、ワープロを打ったり、お菓子を作ったり、その他いろいろなおもてなしを有意義な日々を送ってきました。

友生養護学校では北校舎が建てかえのため今年の体育会は、近くの兵庫県立健康センター内体育ホール三階で行われました。



東遊健康センターにて運動会

神樹の会生活訓練部



訓練教室として
て独立。何かいい愛称はないかなあ。先輩たちが築いてくれた土曜日の午後のわずかな時間、からだが大きく訓練しにくいけれどちょっと先生方にお手伝い頂いて、又やなくて……という気持ちになる。これが大事なんですね。はじまりの三十分間は音楽でのリラックスタイム。月一回のスポーツ・ワープロ等たくさん先生方のご協力があり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願ひいたします。

九月から
垂水養護学校をお借りして、西にも訓練教室がスタートする予定です。身体機能低下を心配するあなた！何かやりたいと思つている諸君！なつかしい先生方に会いたい人！みんな集合。先生方にご協力を頂いて、利用者の希望に応じたフアジーなメニューで皆様をお待ちしてまふす。

このゆびとへまれ……

「将来のこと」
古山 紀美恵
私の子供は現在小学部三年生。首もすわらず寝返りもできない重度障害児である。ついでこの間入学したばかりだと思つていたら、光陰矢の如し。で来年は小高の仲間入りをする。

入学したばかりの頃、卒業後の進路についてのアンケートを書かされ、まだ十二年も先の事で、雲をつかむ様な思いだったが、今年一月の家庭教養ゼミナールで萬代先生の講演を拝聴し



「お母さん達がしなければ、だれも何もしてくれませんが。」の言葉に子供の将来が不安になった。卒業後はたしてこの子を受け入れてくれる施設があるのであろうか。卒業するころにはデイサービスも一杯であるとしたら……。行き場がなく、毎日家でゴロゴロと生きるしかばねの様な生活だけにはさせたくない。そのためには「何かをしなければ」と思ふのである。時々親しいお母さん方と子供たちの将来のために、「福祉の店」をお金を少しづつ貯金をして作ろうと話している。しかしいざとなるとお金の管理や規約の事などなかなか実践に踏み切れずにいる。さしあたって何をどうしたらいいのか諸先輩方から意見をいただきたいと思ふ今日この頃である。

(垂水養護学校小学部三年 母親)

感謝の二報告

*東部デイサービス事業
平成二年度開所以来魚崎会館をお借りして実施していましたが、この度神戸市民生局のご厚意で来年の春ごろまで独自の場所が借りられるようになりました。

*明芳デイサービス事業
昨年開所してから個人のご好意に頼つて園生の送迎に当たっていましたが、かねてよりお願いしてまいりましたところ平成四年六月より民生局から立派な日産キャラバンリフト付きの車輛を頂戴しました。

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。会報27号をお届けいたしました。今回は総会についてのご報告を中心に編集しました。ご協力下さった皆様ありがとうございました。さあ、夏本番！海や山へと楽しいことがいっぱいですが、くれぐれもケガのないよう健康に気分をつけてお過ごしください。

(辻野 乾 進元 元木 森山 西原 宮脇)

